

正味財産増減計算書

(令和5年4月1日から令和6年3月31日まで)

(単位：円)

科 目	当年度	前年度 (令和4年4月1日～令和5年3月31日)	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 基本財産運用益	(3,342,708)	(3,342,707)	(01)
基本財産受取利息	3,342,708	3,342,707	1
② 雑収益	(39)	(38)	(1)
受取利息	39	38	1
雑収益	0	0	0
経常収益計	3,342,747	3,342,745	2
(2) 経常費用			
① 事業費	(3,054,395)	(3,022,650)	(31,745)
旅費交通費	0	0	0
通信運搬費	15,770	18,360	△ 2,590
減価償却費	40,040	54,439	△ 14,399
消耗品費	21,120	21,120	0
什器備品費	0	0	0
保険料	0	0	0
諸謝金	0	0	0
支払助成金	771,583	723,069	48,514
委託費	2,200,000	2,200,000	0
雑費	5,882	5,662	220
② 管理費	(102,671)	(110,588)	(△7,917)
会議費	25,773	30,058	△ 4,285
旅費交通費	2,000	0	2,000
通信運搬費	70,090	75,857	△ 5,767
減価償却費	0	0	0
消耗品費	0	1,735	△ 1,735
支払負担金	0	0	0
雑費	4,808	2,938	1,870
経常費用計	3,157,066	3,133,238	23,828
当期経常増減額	185,681	209,507	△ 23,826
2 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
① 固定資産受贈益			
固定資産受贈益	0	0	0
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
① 固定資産除却損			
固定資産除却損	0	0	0
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	185,681	209,507	△ 23,826
一般正味財産期首残高	2,763,460	2,553,953	209,507
一般正味財産期末残高	2,949,141	2,763,460	185,681
II 指定正味財産増減の部			
① 基本財産評価益	(3,843,948)	(3,843,947)	(01)
基本財産受取利息	3,342,708	3,342,707	1
〃 (償却原価法による償却額)	501,240	501,240	0
② 一般正味財産への振替額			
一般正味財産への振替額	△ 3,342,708	△ 3,342,707	△ 1
当期指定正味財産増減額	501,240	501,240	0
指定正味財産期首残高	242,810,089	242,308,849	501,240
指定正味財産期末残高	243,311,329	242,810,089	501,240
III 正味財産期末残高	246,260,470	245,573,549	686,921

財 産 目 録

(令和6年3月31日現在)

(単位：円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
<b>(流動資産)</b>				
	預金	普通預金		
		ゆうちょ銀行	運転資金	546,324
		中国銀行県庁支店	"	2,108,866
		トマト銀行岡山県庁支店	"	433,850
		大和ネクスト銀行	"	25,036
流動資産合計				3,114,076
<b>(固定資産)</b>				
基本財産	預金	普通預金		
		ゆうちょ銀行	共用財産であり、76%は、公益目的保有財産として、運用益を公益事業の財源として使用している。 24%は、公益目的事業に必要な法人管理活動の用に供する財産として、運用益を管理業務の財源として使用している。	657
		定期預金		
		大和ネクスト銀行	共用財産であり、76%は、公益目的保有財産として、運用益を公益事業の財源として使用している。 24%は、公益目的事業に必要な法人管理活動の用に供する財産として、運用益を管理業務の財源として使用している。	10,000,000
		ゆうちょ銀行	24%は、公益目的事業に必要な法人管理活動の用に供する財産として、運用益を管理業務の財源として使用している。	397,000
		投資有価証券		
		第9回30年利付国債	共用財産であり、76%は、公益目的保有財産として、運用益を公益事業の財源として使用している。 24%は、公益目的事業に必要な法人管理活動の用に供する財産として、運用益を管理業務の財源として使用している。	212,949,663
		第138回20年利付国債	24%は、公益目的事業に必要な法人管理活動の用に供する財産として、運用益を管理業務の財源として使用している。	19,964,009
その他固定資産	什器備品	ノートパソコン（1台）	共用財産であり、20%は、公益目的保有財産として、公益事業で使用している。 80%は、公益目的事業に必要な法人管理活動の用に供する財産として、管理業務で使用している。	1
		ノートパソコン（1台）	公益目的保有財産として、公益事業（100%）で使用している。	6,673
		水質測定機器用ヒーター（1台）	公益目的保有財産として、公益事業で使用している。	1
固定資産合計				243,318,004
資産合計				246,432,080
<b>(流動負債)</b>				
未払金				171,610
流動負債合計				171,610
<b>(固定負債)</b>				
固定負債合計				0
負債合計				171,610
正味財産				246,260,470

## 財務諸表に対する注記

### 1 重要な会計方針

- (1) 有価証券の評価基準及び評価方法  
償却原価法（定額法）によっている。
- (2) 固定資産の減価償却の方法  
定額法によっている。
- (3) 引当金の計上基準  
非計上につき未設定。

### 2 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。（単位：円）

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
定期預金	10,397,000	0	0	10,397,000
普通預金	657	0	0	657
投資有価証券	232,412,432	501,240	0	232,913,672
小 計	242,810,089	501,240	0	243,311,329
特定資産	0	0	0	0
小 計	0	0	0	0
合 計	242,810,089	501,240	0	243,311,329

### 3 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。（単位：円）

科 目	当期末残高	(うち指定正味残高 からの充当額)	(うち一般正味残高 からの充当額)	(うち負債に対応す る額)
基本財産				
定期預金	10,397,000	(10,397,000)	(0)	(0)
普通預金	657	(657)	(0)	(0)
投資有価証券	232,913,672	(232,913,672)	(0)	(0)
小 計	243,311,329	(243,311,329)	(0)	(0)
特定資産	0	(0)	(0)	(0)
小 計	0	(0)	(0)	(0)
合 計	243,311,329	(243,311,329)	(0)	(0)

#### 4 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
ノートパソコン	74,801	74,800	1
ノートパソコン	160,160	153,487	6,673
水質測定機器用ヒーター	172,800	172,799	1
合 計	407,761	401,086	6,675

#### 5 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	帳簿価額	時 価	評価損益
利付国債30年 (第9回)	212,949,663	231,706,990	18,757,327
利付国債20年 (第138回)	19,964,009	21,485,640	1,521,631
合 計	232,913,672	253,192,630	20,278,958

#### 6 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

内 容	金 額
経常収益への振替額	
基本財産受取利息の振替額	3,342,708
合 計	3,342,708